

中野重治全集

第三十三卷



中野重治全集

第二十三卷

筑摩書房

中野重治全集第二十三卷

一九七八年三月三十一日初版第一刷発行

著 者 中 野 重 治

発 行 者 岡 山 猛

発 行 所 筑 摩 書 房

東京都千代田区神田小川町二ノ八

郵便番号 一〇一—一九一

電話 〇三〇七六五一（代表）

振替 東京六—四—一二三

印刷 株式会社 精興社

製本 株式会社 鈴木製本所

装釘 栃折久美子

第二十三卷 目次

国会演説集

一

忘れぬうちに

一六三

中国の旅

一四五

後記

著者うしろ書 はじめての国会はじめての外国行き

一五二

解題

一五九

国会演説集

在外同胞引揚に関する感謝とその引揚促進に関する決議

案賛成

住宅問題について

国家公務員法案反対

道義の昂揚について

芦田総理大臣の施政方針演説にたいする質問

与えられた条件のもとで日本の取るべき外交問題取りあ

つかいの原則的よりどころについて

軽犯罪法案反対

輸送力増強に関する決議案賛成

皇室経済法施行法の一部を改正する法律案および日本国

憲法第八条の規定による議決案反対

国有鉄道運賃法案反対 一

国有鉄道運賃法案反対 二

教育公務員特例法案反対 一

四

教育公務員特例法案反対 二

四

九州地方文化・教育事情の報告

五

阿波丸事件に基く日本国の請求権の放棄に関する決議案

反対

六

飲食営業臨時規整法案反対

六

労働組合法案および労働関係調整法の一部を改正する法

律案について質問

六

緊急失業対策法案反対

七

職業安定法の一部を改正する法律案、緊急失業対策法案、

失業保険法の一部を改正する法律案および労働者災害

補償保険法の一部を改正する法律案反対

七

公共企業体労働関係法の施行に関する法律案反対

七

労働組合法案および労働関係調整法の一部を改正する法

律案反対 一

七

労働組合法案および労働関係調整法の一部を改正する法

律案反対 二

社会保険診療報酬支払基金法の一部を改正する法律案反対

厚生省設置法案反対

労働省設置法案反対

地方財政法の一部を改正する等の法律案および地方税法の一部を改正する法律案反対

星野芳樹議員の懲罰反対

松嶋喜作、浅岡信夫、加藤常太郎、池田宇右衛門、岡元

義人、北村一男、矢野西雄議員を懲罰に付する動議

一

松嶋喜作、浅岡信夫、加藤常太郎、池田宇右衛門、岡元

義人、北村一男、矢野西雄議員を懲罰に付する動議

二

金子洋文、中西功、板野勝次、カニエ邦彦議員懲罰の継

続審査反対

金子洋文、中西功、板野勝次、カニエ邦彦議員の懲罰反

対 一

九

金子洋文、中西功、板野勝次、カニエ邦彦議員の懲罰反

対 二

一〇

在外同胞引揚促進に関する決議案賛成

一〇六

国有鉄道運賃法の一部を改正する法律案反対

一〇七

食糧管理特別会計法の一部を改正する法律案反対

一〇九

薪炭需給調節特別会計における債務の支払財源に充てる

ための一般会計からする繰入金に関する法律案反対

一

一一

民主自由党総裁としての吉田総理大臣の談話について緊

急質問

一二

仲裁裁定に基く給与支給に関する決議案賛成

一二七

薪炭需給調節特別会計における債務の支払財源に充てる

ための一般会計からする繰入金に関する法律案反対

二

一二八

吉田総理大臣の施政方針演説にたいする質問

三三

連合国軍の需要に応じ連合国軍のための労務に服する者等に支払うべき給料その他の給与の支払事務の処理の特例に関する法律案反対

二六

在外同胞引揚問題いわゆる徳田要請事件に関する中間報告
反対 一

二〇

在外同胞引揚問題いわゆる徳田要請事件に関する中間報告
反対 二

二〇

一般職の職員の給与に関する法律案反対

一四

いわゆる広川談話について緊急質問

一四

引揚問題に関する官房長官談および失業・税金問題について緊急質問

一五

未帰還同胞の引揚促進並びに実体調査等を国際連合を通じて行うことを懇請する決議案反対

一五

忘れぬうちに

愛読の文章

ピョートル大帝湾

ある世界めぐり

口にする資格

どうして岸に書ける

ペンと韓国代表

群馬県の識者

無知ではいられなくなつた

同名異人

何枚書いたか

松平と「ジャップ」

ある日のある社説

旅は道づれ

どこの国のお友達ですか

十二月二十八日の「とんがらし」

明日からのナハ

選孝と皇太子	一九一
第十六卷	一九三
額瀨弥三氏	一九四
楠尊氏氏	一九五
伊藤信二の手紙	一九七
漱石以来	一九九
一つの暗合	二〇〇
アルジェリアと韓国	二〇二
NHK三十三周年記念日	二〇四
朝鮮の鞭	二〇五
三年まえ	二〇六
よかつたらひとつ	二〇七
いささか	二〇八
六字の秘訣	二一一
清水村長と朝鮮	二一四
父と子	二一六

巢鴨プリズン

二七

貴司の言葉

二九

「丸がかえ」という言葉

三三

「しかる」という言葉

三三

ある送り状

三四

「学問のない人に限つて」

三六

「処刑」という言葉

三六

石坂修一の釣合い

三九

氏つけと氏なし

三三

ある日の遊覧バス

三三

土門の『ヒロシマ』

三四

髪の手と愛人

三六

汽車と飛行機

三八

死刑確定囚大井晋平氏の手紙 一

三九

死刑確定囚大井晋平氏の手紙 二

四一

それは法律上国歌であつたことがなかつた

四三

小林せきさん病む

二四四

それは「雑音」か

二四六

脅迫状と増田甲子七

二四八

乱用と教養

二四九

「御礼」と「日本文化センター」

二五一

ジグザグ行進について

二五三

法律的にと政治的にと

二五四

数え方のからくり

二五六

国会デモ禁止案は国会デモでうちやぶるべきこと

二五八

索引と「中立」の問題

二六〇

モスクワ藝術座と日本の新劇

二六二

あるエレベーター係の弁明

二六四

他生の縁

二六六

久保田万太郎のちよつとした言葉

二六七

俳優座劇場の喫茶室で

二六九

日露戦争とストライキ

二七一

焼かれた国旗と横浜地検

切手と蔣介石と日本大蔵省

漆だけはよしなさい

日清談判破裂して

広島タクシーの白い服

ある日の税務署

所かわれば品かわる

ごろつきは呼びもどせ

砂川の判決と四月十日の話

二十五年まえの小さな話

もう一度二十五年まえの話

それぞれの国民性をどう見るか

「寛大」ということでの私の勘ちがい

ある日本人弁護士の姿

クルップ、クルップ、クルップ

あれは名誉だつたろうか

狐の嫁いりとアニュータの眼

ソーチの薔薇と「オーレニカ」の日本訳者

外務大臣と日本大使館

現にこのことがある

後藤信男氏その他に

十日を前にして

八月十日ひる

只野直三郎氏の意見

インテリジェントという言葉を最初に使った日本人

大岡昇平 福田恆存 高田サン

故ダレス国務長官追悼会発起人委員会

戸高巡査部長は自首したのだつたという話

日本の新聞の「生きている台湾」

もう一度「生きている台湾」について

『台風十三号』から十五号へ

ファンまたはひいきの一人として

うら口とおもて口

赤十字のミシンかけ

一つの条件つき取消し

サイン・セールのやり方について

それではさよなら

あとがき

中国の旅

前書き

ほんの少し

中国の旅

北京大学の午後

ちいさい人やせた人

この一つのこと

竹と岩石

一種の思い

三三

三三

三六

三八

三九

四一

三七

三九

四〇

四一

四三

四七

五二

五九

重慶のコオロギ

北京、上海の本屋

玉と帽子と太湖石

華南ひと靴をぬぐ

五三

五三

五五

五七